経理課

課長　西森千景

当課について

2021 年度の決算業務では、社会医療法人近森会、医療法人松田会、社会福祉法人ファミーユ高知、地域医療連携推進法人高知メディカルアライアンスの 4 法人の決算を行った。

近森会では、新型コロナウイルス感染症により 2 月には近森病院の院内クラスターによって大幅な収益減少となったが、通年では増収増益となった。医業収益は 20,284 百万円、当期純利益 1,731 百万円となった。財務面においても自己資本比率が前期末 1.2%から当期末 6.9%へと改善した。一方、松田会では近森病院の院内クラスターの余波を受け、大幅な収益減少となり経常損失となった。新型コロナウイルス感染症の対応が続く状況では、資金繰りに余裕がなくなり、福祉医療機構から新たな借入（コロナ融資）を行った。ファミーユ高知では新型コロナウイルス感染症の影響により、稼働率の低下など収支が悪化し、経常損失となった。

また 2023 年 10 月 1 日から導入される消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）、2024 年 1 月に電子帳簿保存法の改正対応（電子取引における電子保存の義務化）について準備を進めた。

人事では、川添課員が 4 月に退職し、12 月に大神課員が入職した。

＜人事＞

4 月　川添課員　　退職

12 月　大神課員　　入職